

木材伐出業における地山、岩石を起因物とする死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
1	15~16	搬出間伐施業地にて搬出エリア外を切り捨て間伐作業中、前日の降雪により林内に積雪していたため、転石をよく確認できず、その転石を踏み左足を滑らせ、足首を捻り転倒した。	19~29	10
2	10~11	山林で伐倒後に枯枝が落下して背中に当たり、斜面5m下に滑落し胸を強打した。	66~29	10
3	15~16	現場にて倒した木の枝払いをチェーンソーで行っているときに転んでしまい、チェーンソーの刃に当たった。	67	1~9
4	15~16	山林内で間伐作業を行っていた時に、間伐木がかかり木になった。処理をする為に近づいたが、かかり木がはずれて倒れてきた。安全な箇所へ逃げる際に斜面に足をとられ大きく捻った時に骨折した。	23~49	30
5	13~14	山林において（谷に近いところ）、除伐作業を行っていた。昼休憩時間になったので刈払機をその場に置き、上の横道へ停めてある車まで戻り食事を取り、休憩をした。少し小雨が降っていたが、定時になったので作業場まで山を下り始めたところ、傾斜約35°の斜面になった所で、踏ん張っていた左足が滑り、約2m滑落し、その際左足を伐採残木に強打した。	32~99	50
5	10~11	山林現場において架設作業中、滑車を持って移動中に斜面で約2m程下に滑り、激しく尻もちをつき腰に痛みが出て、動けなくなった。	35	1~9
6	15~16	山林の傾斜約30度の所でスギ立木の伐採作業中、足を滑らせ、臀部から落ちた所に切り株があり、臀部を打ちつけた。	51	30~

				49
6	16~ 17	急傾斜40度位の場所で伐採作業中、木を倒して枝払をしようと動こうとしたところ、上から直径20cm位の石が転がってきて、身体左側に当たって被災した。	33	10 ~ 29
7	10~11	当社造材現場において、枝払い作業中の事故で左足をくぼ地に入れ、バランスを失い左膝部にチェーンソーのバーが当たり被災した。	54	1~ 9
7	9~10	営業所内にて足場資材の整理作業中、結束された支柱（3600）を指定箇所にフォークリフトで積み上げていた。支柱整理用の台木が斜めになっていたため、台木を直そうと支柱最上段によじ登り直し終わって降りる際、誤って転落、約3m下の鉄板上に背中から転落、背骨を骨折した。	64	1~ 9
7	15~16	山林で杉の間伐作業中、チェーンソーを使用して伐倒作業を行っていたところ、斜面の上から転石（直径50cm位）が生じ、右足大腿部に当たり負傷した。	37	10 ~ 29
7	11~12	再生事業における間伐作業中、伐倒木から退避していたところ、足を滑らせてしまった。そこにたまたま何か（ガラスと思われる）があり、左足を切傷した。	31	1~ 9
7	11~12	間伐作業現場において作業員4名で作業中、被災者は、傾斜約40度の急斜面で伐倒作業後の避難時に足を滑らせ、右足で踏ん張った際、負傷した。	42	10 ~ 29
7	13~ 14	伐採の現場で、被災者は伐採作業をしていたが、チェーンソーの音がしないので近くの作業員が確認したところ、伐採地点の下方30m位に滑落して倒れているのを発見した。	70	30 ~ 49
7	11~ 12	現場において作業時の場所移動中、作業道の土手上にある木の切株根元にロープを掛けて、高さ約3m辺りよりロープを伝って道に降りるときに足が滑り、ロープから手が離れて地面に落下し、背中を強打した。	54	10 ~ 29
9	9~ 10	山林で伐倒作業の移動中、段差を上がろうとして、腰を痛めた。	30	1~ 9
		作業現場に到着後、同僚2名で作業範囲の確認を行うため、10mほど斜面を登った		100

9	11～ 12	昼食前だったので、休憩するため、一旦作業車に戻ろうと斜面を下っていた際、足を滑らせ尻もちを着いた、その際近くにあった石で右の腰辺りを強打し、肋骨を骨折した。	64	～ 299
10	13～ 14	台風被害による風倒木除去の作業中、重なりあった木の枝落としを行っていたところ、重みが取れた倒木が動き、足元の木をゆらしたため、体のバランスを崩して転倒し、転げ落ちて負傷した。	63	1～ 9
10	10～ 11	間伐作業中、不良木（胸高直径10cm）を切り倒したが、不良木が木と木に挟まり地面より1m位浮いてしまったので木の途中から切り落としたり、切った片方の木に胸を押され2m位下に転落した。足から落ちたが石があり右足踵を骨折（ヒビが入った）した。	49	10 ～ 29
11	15～ 16	被災者は、3人でチェーンソーを用いて間伐作業を行っていた。作業が終了し、下山途中の急傾斜で足を滑らせ転倒した際に、木の株で右側腹部を強打した。負傷した後、自分で下山し帰宅したが痛みが取れず翌日病院へ行き受診した結果、打撲と診断された。	32	30 ～ 49
11	14～ 15	伐倒作業中、落石と思われる物が左耳・左肩に当たり負傷した。現場は急斜面で上方において、作業道開設中の重機を目視できず状況を把握していなかった。	43	30 ～ 49

出典：[https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen\\_pgm/SHISYO\\_FND.aspx](https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx)(職場のあんぜんサイト)

Return to：[https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206\\_11.html](https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_11.html)